

大麦特報 (第4号)

平成29年3月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

本年の大麦の止葉展開期は、今後平年並みの気温で推移した場合、4月5～8日頃（出穂期は4月16～19日頃）と予測され、**平年に比べ5日程度早くなる**見込みです。

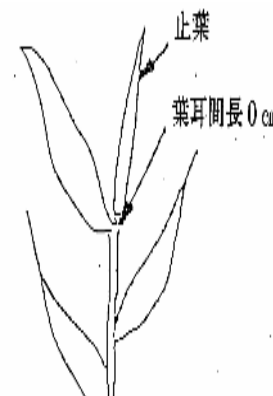
1 止葉展開期追肥

◎分施肥系

追肥時期が早いと整粒歩合が低下し、遅いと硝子率が高くなり品質が低下します。大麦の生育をよく確認して施用しましょう。

表 分施肥系ほ場の追肥の目安

追肥時期	葉色	m ² 当たり茎数	10a 当たり施用量
4月5～8日頃	5未満	670本未満	硫安 5～10kg
		670本以上	硫安 5kg 以内
	5以上	—	追肥しない



追肥時期の麦の姿

肥効調節型基肥肥料（LP大麦48号）を使用している場合は、原則として**追肥しない**。

2 赤かび病防除

赤かび病は、特に開花時（1回目）の防除が効果に大きく影響します。ほ場ごとに開花状況を確認し、**適期の2回防除**に努めましょう。

①散布時期の目安

1回目	穂揃期(開花始め) 4月19～22日頃
2回目	1回目から7日後

②防除薬剤

	1回目	2回目
粉 剤	トップジンM粉剤DL 4kg/10a	ワークアップ粉剤DL 3kg/10a
液 剤	トップジンM水和剤 1000倍液 150ℓ/10a	シルバキュアフロアブル 2000倍液 150ℓ/10a

※可能な限り防除効果の高い、液剤体系としましょう。

※無人ヘリコプター散布の希釈倍率は異なるので注意してください。

※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、風の弱い時間帯に散布しましょう。

3 排水対策

排水不良ほ場では、根張りが悪く、施肥効果が低くなるため、排水溝の手直し等により排水を促しましょう。

※溝が滞水して緑（藻・苔）のほ場は早急に排水しましょう！

春の農作業安全運動（4月1日～5月31日）